



鯉の季節

客員 相談役 **藤井 基之**

鯉いりのぼり 富士の裾野に 尾を垂らす (山口誓子)

風薫る五月、鯉のぼりの季節です。中国に「鯉は天に昇って龍になる」という言い伝えがあり、そんな鯉の出世にあやかっ、子供たちが健やかに大きく成長してほしいという親心を託したもので、江戸時代に広まったのだそうです。五月晴れの空に悠然と泳ぐ鯉のぼりは清々しく、心を洗ってくれます。

さて、その鯉という魚、世界にはなんと二千五百種も生息しており、そのうち日本には五十五種もいるとか。野生のものは「野鯉」、養殖のものは「大和鯉」と呼ばれ、まとめて「真鯉」と呼ばれるそうです。観賞用の鯉として「錦鯉」がありますが、錦鯉は学術用語でも「Koi」と呼ばれているそうです。日本発の錦鯉は、今や国際的なのですね。

鑑賞用の鯉に対して、養殖の食用である「大和鯉」は英語で「Carp」、広島カープのCarpです。鯉の洗いに、鯉の焼き物、甘煮…と、鯉料理にも色々ありますが、味

噌で煮込んだ鯉こくは最高です。

ところで、鯉は食用や鑑賞用だけでなく、昔は薬用としても大切だったようです。千年ほど前、当時の典薬頭てんやくづのうの丹波康頼という人が編纂した「医心方」という日本最古の医学書があります。この本は、中国の隋・唐時代の医書、方術書などから選んで編集したもので、その中に鯉の薬用効果について、次のような記事があるそうです。

○鯉の肉の味は甘く、こみ上げ顔が赤らむ咳や黄疸おうだんを治し、渴きを止める。生きたまま煮ると、むくみ、特に下半身のむくみを治し、のぼせを下げる。胆囊たんのうは苦く、体を冷やし、無毒で、眼の熱感・疼痛を治し、目の見えをよくする。骨は様々なおりものを治す。歯は尿路結石を治す。

○骨の灰は陰部潰瘍かげう、のどのつかえを治す。血は子供の赤い腫れ物を治す。皮は赤い吹き出物を治す。脳はいろんなひきつけを治す。腸は子供の厚いかさぶたがあるできものを治す、等々。

ただ、良いところばかりではないようで、医心方には、こんな鯉を食べる時の注意を記述した文献も紹介されているそうです。

○季節の流行病にかかった後に食べてはいけない。食べれば病気が再発し、即死する。

○山上の水中にいる鯉を食べてはいけない。また鯉のなれ寿司をアズキの葉と一緒に食べてはいけない。鯉の卵をブタの肝臓と一緒に食べると体に悪い。

○砂に中毒したコイは脳髄に毒を多く含むため、頭を食べてはならない。また、背びれの両側筋と血をたちさるるのは、毒の作用からである。

こういふことは今でも言われているのでしょうか？よくわかりませんが、薬用の効能の方はといえば、鯉の胆嚢は大変苦く熊の胆に似たもので、今日でも健康食品としてけっこう人気があるようです。

まあしかし、やはり鯉は健康食品より、調理師の皆様が腕によりをかけた鯉こくや鯉の洗いで熱燗を一杯やる方が、私には最高ですね。

箸逃ぐる 明石の鯉の 洗いかな（清水基吉）

鯉が新鮮でプリプリしているので、なかなか箸で挟めないのですね。おいしそうな洗いが目に浮かびます。

ふじい もとゆき 藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ
<http://www.mfujii.gr.jp/>

■その他 薬学博士・薬剤師

■私の政治信条

私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会造りです。

高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。

好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

■活動報告

参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

■経歴

- 昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
- 昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
- 昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
- 昭和44年 厚生省入省
- 平成9年 厚生省退官
- 平成9年 財団法人 ヒューマンサイエンス
振興財団専務理事
- 平成12年 日本薬剤師連盟副会長
社団法人 日本薬剤師会常務理事
- 平成13年 参議院議員
- 平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)

■党・県連関係役職

- 自民党厚生関係団体、労働関係団体副委員長
- 自民党新聞局次長
- 自民党医療基本問題調査会、薬事行政のあり方検討小委員会事務局長

■その他役職

- 昭和大学薬学部 客員教授
- 共立薬科大学 客員教授
- 東邦大学薬学部 客員教授
- 新潟薬科大学 客員教授
- 千葉大学薬学部 非常勤講師
- 京都薬科大学 客員教授
- 日本薬剤師連盟 相談役